鈴木工業株式会社
かわら版
「仕事」「人生」そして「環境」
発行元；鈴木工業㈱
2017年 4月　第25号

『こんにちは鈴木工業です』

桜も終わり、新緑の季節。さっぱりした風にのって、ウキウキ乗っていきましょう。新年度もスタートしました。出始めるこころ、いろいろな疲れがでてきそうな風邪にかかりやすい季節です。

いつもかわら版をご覧いただき、ありがとうございます。今年度も恒例となりました新入社員の紹介をさせてもらいます。

かわら版編集部一同

鈴木工業はこんな会社です

交通安全『交通死亡事故ゼロキャンペーンへの取り組みに対し、宮城県警察本部様より感謝状を頂きました』

感謝状

鈴木工業株式会社 殿

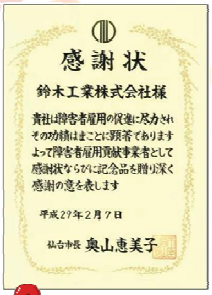
貴社は交通安全の重要性を深く理解され、ゼロキャンペーンに積極的に取り組み、県民交通安全意識の高揚に尽力し、平成二十八年中の交通死亡事故件数が前年に比べ大幅に減少したことに感謝の意を表します。

平成二十九年三月二十二日

宮城県警察本部長　青山達

賛同企業として、「みやぎ交通死亡事故ゼロキャンペーン」に参加し、交通死亡事故の抑止と飲酒運転の根絶に取り組んでいます。
御家庭や職場で、改めて「交通安全」について考え、悲惨な交通事故を１件でも減らしていきましょう!

『障害者雇用貢献事業者として感謝状を頂きました』



感謝状

鈴木工業株式会社様

貴社は障害者雇用の促進に尽力されその功績はまことに顕著であります
よって障害者雇用貢献事業者として感謝状ならびに記念品を贈り深く感謝の意を表します

平成27年2月7日

仙台市長　奥山恵美子

障害のある方の雇用促進に取り組み、その取組みを評価いただき、感謝状をいただきました。
仙台市にて、市民の方々の障害に対する理解を深めていただくとともに、障害のある方の雇用の創出・拡大を図ることを目的に平成21年度から実施されているものです。

環境トピックス ～交通渋滞編～

気候もよくなり、いろいろな急に暗くなったり、何となく圧迫感ところにお出かけしたくなる季節。海に、山に、レジャーランドに、お買いものにと考えただけでも楽しくなっちゃいます。

やっぱり行き先を決めるためどうせ出かけよう！といざ出発するとあなぜかはまってしまう嫌なものもそう、交通渋滞です。事前に渋滞情報を調べて、できるだけスムーズに目的地にたどりつけるルートを選んだはずなのに・・・、イライラしてしまっては台無しです。みんなで仲良くお出かけを楽しめるように、渋滞回避の方法を調べてみました。

・どうして渋滞するの？

結局何ともなく普通のスピードでもどる。なんて経験をしたことはありませんか？これは、渋滞の原因のひとつ「サグ渋滞」です。サグとは下り坂から上り坂に差しかかる凹部のことで、ルーで利用する路線の渋滞予想時間を①上り坂やサグ部で無意識に速度が下がる、②車間距離が短くなる、③後続の車がブレーキを踏む、④最後には止まってしまう。といった具合に渋滞がキ成長していきます。このようなトンネルの入り口で、現象は、

・渋滞の回避方法は？

まずは、「渋滞しない時間に走る」単純なことですが、これが最大の回避方法です。渋滞予報カレンダーで確認し、渋滞が始まる時間の前には目的の路線に乗っているようにしましょう。また、出発前に迂回路を把握しておき、常に最新情報をチェックしておけば、さらにスムーズにトレスが小さくなりますよ。

運転のしかたで渋滞の発生を抑える方法としては、「一定のスピードを維持する」ことです。原因にあったとおり、無意識の減速が渋滞のもとになってしまいます。スピードメーターに注意し、スピードを保つよう心掛けましょう。

「できるだけ車線変更をしない」ことも重要です。渋滞していると進んでいる車線に変更したくなりますが、結局は左車線を走っている方が早いことの方が多いんです。右側車線が流れ出しても根気強く待ってみましょう。また、ムリな車線変更によって、後続の車輌のスピードが落ちて、渋滞が余計に長くなってしまうこともあるので注意しましょう。

「車間距離を取る」

高速道路の渋滞は前方の車のスピードが落ちることと、車間距離が詰まることによって起きます。あらかじめ多めに車間距離をあけておけば前の車の速度変更の影響を受けづらくなりますし、なにより交通事故の防止につながります。

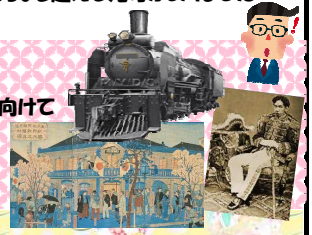
運転手のみなさん。安全運転をこころがけて楽しい休日を過ごしましょう。

仕事の合間の…

はしやすめ

明治以前は天皇即位による改元ではなく、天変や地震により改元されたようで、江戸時代には30を超える元号がありました！
なので近々の明治、大正、昭和、平成の元号の由来を調べてみました。

今回のはしやすめは、最近よく耳にする「年号」について調べてみました♪
私は昭和生まれなので、平成に続き２度目の年号の変わり目を経験できるかもしれないのですね… 大正生まれの方は３度目、、、



〈明治〉
五経の一つ「易経」の「聖人南面而聴天下、嚮明而治」より。
「聖人南面して天下を聴き、明に嚮(むか)ひて治む」→聖人が北極星のように顔を南を向けてとどまることを知れば、天下は明るい方向に向かって治まるという意味。
この言葉は、過去の改元の際に江戸時代だけで8回、計10回候補として勘案され、通算にして11度目にして採用、約44年半続きました。

1979年に制定された〈元号法〉
第1項: 元号は、政令で定める。
第2項: 元号は、皇位の継承があつた場合に限り改める(一世一元の制)

元号の選定条件は、
(1)国民の理想としてふさわしいような、よい意味を持つものであること。
(2)漢字2文字であること。
(3)書きやすいこと。
(4)読みやすいこと。
(5)これまでに元号または送り仮名として用いられたものでないこと。
(6)俗用されているものでないこと。
以上のような条件があるようです。

〈大正〉
「易経」彖伝・臨卦の「大亨以正、天之道也」より
「大いに亨(とほ)りて以て正しきは、天の道なり」→天が民の言葉を嘉納し、政(まつりごと)が正しく行われるという願いが込められています。
過去に4回候補に上がり、5回目で採用され15年続きました。

〈昭和〉
四書五経の一つ書経堯典の「百姓昭明、協和萬邦」による。
国民の平和および世界各国の共存繁栄を願う意味だそうです。
昭和は、日本の歴代元号の中で最も長く続いた元号であり、
元年と64年は使用期間が共に7日間であるため実際の時間としては62年と14日。外国の元号を含めても
歴史上60年以上続いた元号は日本の昭和(64年)、清の康熙(61年)および乾隆(60年)しかないそうです！

〈平成〉
「史記」五帝本紀の「内平外成(内平かに外成る)」「書経」大禹謨の「地平天成(地平かに天成る)」からで「内外、天地とも平和が達成される」という意味。

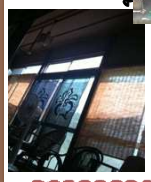
先日フィギュアスケートの元世界女王平成生まれの浅田真央さんが平成の時代に現役を引退しましたね…

平成30年の節目で退位する可能性が高いとの話です。年号が変わる日が1月1日となるとカレンダー業界の方々は半年前から製作しなければいけないらしいそうです！大変ですね!!
それでは皆さん
時代が変わるその時を素敵な笑顔で迎えましょう!!

仙台と蕎麦と私

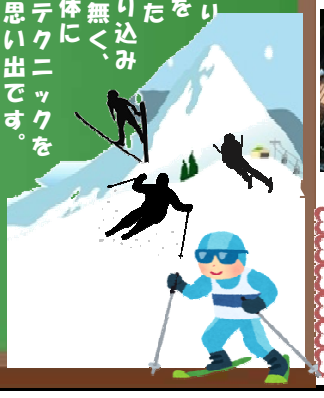
かわら版読者のみなさまこんにちわ、どうも私です。
私は鈴木工業の中では数少ない他県出身者ということで今回のお話をさせていただきます。私が初めて仙台に来たのが２００７年の２月。もはや春めいた静岡県伊豆地方から来た私を迎えてくれたのはしんしんと雪が降る、冬の仙台でした。積もるほどの雪を見るのはいつぶりだろうか…と考えながら用件を済ませているうちに、すっかり日も落ち、へとへとの私の目に入ってきたのが仙台駅中の立ち食い蕎麦屋さんでした。街中を散策する気力もないし、簡単に済ませようかと思い、ざるそばを注文したところ・・・
何じゃこりゃあ！う…上手い！！」今まで食べた蕎麦の中で一番美味しいのではないという位の感動でした。立ち食い蕎麦でこのクオリティなら、本格的なお店で食べたらさらなる感動が待っているのでは！ということで、転居した後は蕎麦食べ歩きの毎日。仙台市内はもとより福島、山形、岩手、秋田と折を見ては蕎麦だけのために遠出をしております。東北の美味しいお水と品質の高いそば粉に感謝　淡

ということで最後に一押しのお蕎麦屋さんをご紹介
山形県は白鷹町にある　「平利庵」さん
仙台から2時間弱と少々遠いですが、迎えてくれるのは親戚の家のような温かい佇まい。限定５０食ですので予約必須ですが、その味は絶品です。
みなさまもこの週末に少々足を伸ばしてお蕎麦はいかがでしょうか



アキばちょふのアキない話　～来年へ向けての今年の目標～

去る4月21日(金)に蔵王エコーライン・ハイラインが冬期通行止め解除となり通り抜けができるようになりました。ゲートをくぐり抜け両脇にそそり立つ雪壁を縫うように進んでいくと井戸沢と呼ばれる場所があります。高校時代所属していた競技スキー部では新入生歓迎も兼ねた井戸沢合宿なるものがあり、山小屋に泊まり込み道路脇の斜面に旗門を立てて練習を行う行事がありました。もちろんリフトなど無く、滑り下りたらスキー板を担いで登らなければならず、斜面に立てた旗門もたまに体に当たって抜けるとそのまま斜面を滑り落ち行方不明になるといった有様でした。テクニックを磨くというより根性を鍛えるための合宿だったと思います。今から四半世紀前の思い出です。
その後社会人になって10年ほど競技はおろかスキーからも遠ざかっていましたが、ひょんなことから昔の仲間とチームを再結成しレース競技を再開することになりました。財務大臣の目もあり、スキーブーツ、スキー板など密かに買いそろえ再び雪上に立ったわけですが…重い…体が重い…リフト完備のスキー場でしたが2～3本滑ると下半身マヒに…息も上がりっぱなし…これではレースに出ても序盤でコースアウトだべ…最近めっきり弱いわけだよな…と妙に納得しながらも大変残念な気分になったのが昨年の3月のことでした。
オトコを取り戻すべく1年かけて10キロ減量し、臨んだ今年2月合宿のタイムレース。軽量化とはこんなに効果があるものなのかっっ…昨年とは段違い…学生時代を彷彿とさせる下半身の動き…。今年一年準備をすれば昔のようにイケるのではないだろうか？！迷いましたが、自分を追い込むためにも宣言させていただきます。
「来シーズンレースへ出場し入賞する。」
ターゲットはＴＢＣ(東北放送)杯と河北新報杯の2レース。マスコミ主催のレースですので万が一[illegible]メディア露出もあるかもしれません。広報ご担当者様、宣伝のチャンスです。御社のネームを入れるスペースとして頭部、胸、肩、太もも部分に空きがあります。申し込みは随時受け付けております。
ちなみに頭部が最も高額です。ご希望の場合はエージェントを通じてコンタクトをお願いいたしま[illegible]



編集後記
春は出会いと別れの季節です。かわら版編集部メンバーも異動がありながらも、おなじみの内容でどうにかお送りできました。間に合ってよかった。今後も色とりどりのかわら版をお届けできるよう、編集部一同がんばります。